２２０２３年度　事　業　計　画　書

２０２３年1月1日 から２０２３年１２月３１日まで

特定非営利活動法人フレンズ･ウィズアウト･ア･ボーダーJAPAN

１．事業実施の方針

ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）の来院患者数が増加傾向に戻りつつあり、院内が混雑する状況を避けるために郡立病院でのケアの質を高めるためのサポートを強化する。コミュニティケアのための国のプログラムでもあるIMNCI（小児疾病総合管理）に焦点を当て、包括的なサポートを行うため、多職種によるチームを構築し、保健局や県立病院と話し合いを重ねながら計画を進める。

ドナーミルクバンクを新設し、早産児の栄養改善、また、様々な理由で母乳を与えることが出来ないお母さんに代わり、入院中の赤ちゃんが母乳を得られる環境を整える。ネフローゼ症候群、てんかん、整形外科的外傷後のフォローアップ、脳感染症、出産時の合併症など、特定の診断に特化したクリニックの設立に向けてプロジェクトを開始する。

「予防プロジェクト」を立ち上げ、ラオスの主な健康問題であり、発育阻害や5歳未満児の死亡率を多く引き起こしている栄養不良の予防に焦点を当てた活動を展開する。

新人医師のための基礎コース終了後フォローアップとして、医師向けの2年カリキュラムを計画し、LFHCの医療の質をさらに向上させることを目指すとともに、保健省や保健科学大学と連携し、医師や看護師向けのナショナルトレーニングのサポートを行い、ラオス国内での教育の質向上に努める。

助成事業としてカンボジアの「アンコール小児病院（AHC)」と事業内容の見直し及び評価を行い、今後の方向性を協議する。現地のニーズに沿った事業への助成事業を継続して行う。

日本国内においては、対面型のイベントを再開するとともに、オンラインも活用しながら報告会の他、トークイベント等を開催し、団体の認知度向上と支援拡大へ繋げる。企業との連携構築強化を図るために引き続き新たな取り組みを開拓する。寄付キャンペーンや助成金申請を継続して行い、新規支援者獲得及び安定した運営資金確保に努める。団体広報の強化のために、WEBサイト、SNS、年次報告書やパンフレット等を活用する。

２．事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　140,654　】千円）

事 業 名	事 業 内 容	実施予定日時	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額（千円）
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	382名	1)カンボジア人医療従事者 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	44,600
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院（LFHC)」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	166名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHCスタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族	77,200
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1名	現地スタッフ約170名及び不特定多数の地域住民	500
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	6名	不特定多数の医療従事者と患者	340
普及啓発事業	WEBサイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	7名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	18,014